



土足化された大会議室



全面改修されたトイレ

中央公民館改修工事終わる

昨年11月より施工されていた高森町中央公民館の改修工事が完了しました。今回の改修工事では利用者の皆さんが安心かつ快適にご利用いただけるよう、玄関スロープの拡幅、トイレの改修、大会議室の土足化、2階のすべての部屋へのエアコン設置等を実施しました。利用しやすくなった中央公民館をさまざまな場面でご利用ください。



町あるきの様子



発行所 長野県下伊那郡高森町
高森町公民館
下市田 高森町公民館
発行人 一
芦部 公集
編集 本館 編集部
電話 35-9416
印刷所 龍共印刷株式会社

公民館は地域の要・学びの拠点です

公民館長 芦部 公一

多くの高森町民が「つどい・まなび・つながる」場が高森町公民館です。令和6年度も様々な活動を計画しています。公民館主催事業だけでなく、社会教育に関わっての事業、さらには他の機関との連携協力事業も多くあります。少し拾い出してみましたが、改めてその幅の広さに驚かされました。しかし、どの事業も地域の人たちが「つどい・まなび・つながる」ことに関わる事業であり、今年も多くの皆さんに参加していただければ嬉しく思います。主な行事を紹介いたします。

■公民館主催行事
■公民館スポーツフェス(本館体育部)ー 今までの分館対抗スポーツ大会ではなく、オープン参加型のスポーツ大会です。10月に行います。だれにでも気軽に楽しめる企画で行います。
■公民館文化祭(本館教養部)ー まるごと収穫祭に合わせて行います。町民の皆さんのステージ発表、作品展を行います。
■はたちの集い(本館教養部)ー 二十歳になった皆さんの、その節目を祝う会です。

■公民館報発行(本館編集部)ー 年5回の発行で、公民館行事や町民目線での高森町の情報を発信していきます。
■高森町シニア大学ー シニア世代の学びの場として五十年の歴史があります。今年も様々な分野での講師

をお呼びしています。シニア世代の方だけではなく多くの皆さんの参加をお待ちしています。

■高森町コミュニティスクール学校運営協議会・地域学校協働本部ー「高森の子どもは高森町全体で育てる」ということを基本に、学校、地域、家庭を結び公民館が核になって進めています。

■中学生地域応援ボランティア活動ー 中学生が地域へ出てボランティア活動を行います。公民館がその窓口を務めています。
■魅力発見町あるきー 春、秋2回、町内各地にある魅力的な場所を訪ねる企画です。この春は、山の寺参道の三十三観音を訪ねました。子どもも含め、たくさんの方に参加いただきました。秋も、資料館と連携して行います。

■三十三番札所めぐりー 北部公民館の連携事業です。伊那坂東三十三番札所を順に巡るという企画です。
■社会教育関連事業ー 公民館主催事業ではありませんが、社会教育関係で公民館がかかわり実施している事業もたくさんあります。

■広島平和バス派遣事業・平和講演会ー 高森町の歴史的特色ある取り組みです。
■町民ゴルフ大会ー 昨年は200人以上の皆さんに参加いただきました。
■信玄狼煙上げリレー事業ー 吉田史学会、吉田古城

愛護会との連携事業
■ふれあいキャンプ・小谷村スキーー 育成会との連携事業
■下市田学校関連事業(お泊り会等)ー 下市田学校応援隊との連携事業
■松岡城址新緑の会・秋の陣ー 松岡城址愛護会との連携

■高森古城桜祭りー 吉田古城愛護会・吉田区との連携事業
■支分館事業支援
■市町村対抗駅伝
■島岡杯小中学生野球大会
■盆野球大会

令和6年度 各部長挨拶&事業紹介

教養部

教養部長 小平 幸夫
本年度、教養部長を務めさせていたたく山吹駒場地区の小平幸夫と申します。公民館活動は、少し休んでいたのですが、解らない事だらけですが、教養部員、事務局の皆様のお力をお借りして、町民の皆様のために

ればと考えています。公民館文化祭、はたちの集い等、重要な行事があり、成功するように活動してまいります。
【教養部事業紹介】
10月26日(土)
公民館文化祭
1月3日(金)
はたちの集い

体育部

体育部長 佐々木 賢
本年度、体育部長を仰せつかりました山吹中區の佐々木と申します。公民館の一事業としての

ざっと挙げてみました。が、これだけありました。他にも、町民の皆さんから「こんな学びの場があったらいい」という声があれば対応していきたいと考えます。いずれにしても公民館は生涯にわたって学び続けるための、地域の要であり学びの拠点です。

参加の仕方、かわり方はそれぞれですが、是非自分のスタイルに合った学びを見つけ、豊かな社会生活を送っていただければ幸いです。

在り方を部員の皆さんと考えつつ、協力し合いながら活動して参ります。お力添えを賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

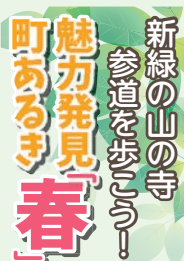
【体育部事業紹介】
10月14日(月・祝)
公民館スポーツフェス

編集部

編集部長 木下 倫信
公民館報は、公民館活動を地域の皆様に知っていただく機会であり、地域の魅力を発信できる場です。より多くの皆様に関心を持っていただける紙面づくりを通じて、地域活性の一助となるよう編集部一同がんばります。

【編集部事業紹介】

6月 公民館報639号発行
7月 公民館報640号発行
9月 公民館報641号発行
12月 公民館報642号発行
2月 公民館報643号発行



新緑の山の寺参道を歩こう！



魅力発見「春」町あるき

高森町公民館視聴覚部 67 年間の歩み

令和 5 年度 視聴覚部長 古 木 英 男

視聴覚部は映像コンテンツのデジタル化が進む中で一定の役割を終えたことから令和 6 年 3 月 31 日付けをもって廃部となりました。廃部にあたり、これまでの視聴覚部の 67 年間の活動を振り返ってみました。

昭和 32 年山吹村と市田村が合併して高森町が誕生、公民館も発足しました。視聴覚部も同時に専門部として設立され活動に入りまし

た。視聴覚部活動は当初、集会所などで年に 2 回ほど巡回映画の上映会を行いました。映画会は親子映画会として平成 23 年まで続けられ多くの子どもが見に来てくれました。

町民運動会では音響を担当しました。当初は真空管のアンプが気温の上昇とともに熱で音が出なくなったり、レコード盤で音楽を流す際は砂埃が舞うとレコード盤に砂が落ち、音が途切れたりといったトラブルもありました。

昭和 35 年頃からは 8mm 映画の機材が導入され、作品づくりが行われるようになりました。昭和 36 年の 6 月に伊那



映像編集の様子

谷をおそうた集中豪雨が起り、この災害と復興の様子を作品にした 8mm 映画は大変貴重な資料です(現在 DVD ビデオに変換され、図書館で貸し出しが行われています)。

昭和 57 年には 8mm 映画の作品として市田柿が長野県自作教育映画コンクールで佳作賞を得ています。

昭和 50 年頃には、VHS カメラとデッキを用いた作品作りが始まりました。昭和 60 年に入り町の行事・ふるさとまつり文化祭等の記録をするようになりました。

平成 7 年、田楽座の創立 30 周年記念公演を撮影する機会が出来て撮影技術の向上と収録作業の勉強が出来ました。また、第 15 回高森町有線放送うたくらべの収録も実施しました。

町制施行 30 周年には町内のお祭りの演技を中学校のグラウンドで撮影をしました。平成 8 年には町制施行 40 周年記念事業の町民主体でのミュージカル惣兵衛堤防に咲いた花の記録と頒布ビデオの撮影及び製作が約 2 年かけて製作され大作となりました。

数十年前に渡り町内の郷土芸能を撮影製作されてきたお祭りシリーズが平成 13 年に 12 作品が完成しお披露目が行われました。現在はアーカイブ事業で DVD ビデオに変換されて図書館で貸し出しを行っています。

ふるさとまつり・文化祭においてはフォトカレンダー作りを始めました。毎



フォトカレンダー作りの様子

年レベラルアップを行い、リーダーが増え、2 階の展示作品も見て頂けるようになりました。特に子供達がメンバーを変えながら 3 枚も作ったり、親戚に送るの複数枚ほしいという方がいたり 2 日間 1000 枚以上もプリントする事が出来る体制を作りました。

フォトカレンダーの撮影製作配布は 20 年余に渡り行ってきましたが 2019 年のコロナ感染が蔓延して 2 年間で中止しました。好評でしたが 2022 年で惜しまれ終了となりました。

6 年ほど前から、今までのビデオ映像をデジタルアーカイブスとして残す取り組みを行いました。アーカイブ作業の済んだ物は図書館で貸し出し出来るように進めています。又、現役で活用出来る機材は資料館時代の駅での体験学習用として利用して頂ける予定です。

視聴覚部発足以来 67 年余の活動の一部しかお伝え出来ませんが、実績は誇れる事です。分館・本館で活躍された諸先輩の方々や最後の視聴覚部員の方々の長年の活動に対して感謝申し上げます。又、皆様方におかれては、公私と共に今後の活躍を祈念しております。

上市田分館

カッコイところを見せたい！ 上市田区グランドゴルフ大会

4 月 28 日に、上市田区グランドゴルフ大会が行われました。強い日差しではありましたが、穏やかな天候の中、多くの区民が集まりました。

始めに篠田区長より「春の忙しい時期に参加いただきありがとうございます。多くの皆さんと交流できるような楽しんでください」との挨拶があり次に、小林分館長から「コースは難所もありですがプレーを楽しんでください」との挨拶がありました。

コースは全て公民館役員の手作りで区民会館前のグ

ランドから下段の芝生、お堀跡のくぼ地も使い 15 ホールです。

開始早々から、あちらこちらで歓声や嘆く声が聞こえてきました。「オオー」「ヤッター」「頑張れ」といった声や「入った？どこへ入った？」「カッコイとこみせて！」といった声も聞こえてきて盛り上がり

ました。参加者からは「日頃の運動不足を解消できそうです」「ホールインワンが出せない」「今年は暑い！」などとさまざまな感想を話してくれました。

役員は、ホールインワン



目指せホールインワン

が出るように願いながらコースを作りましたが、今年に残念ながら 0 名でした。新年度初めての行事でしたが、それぞれに好印象が得られたグランドゴルフ大会でした。

牛牧分館

4 年ぶりの獅子舞奉納

4 月 13 日、14 日の 2 日間

にかけて牛牧地区の獅子舞、お囃子の奉納が行われました。新型コロナウィルスの流行によって開催が延期されていましたが、緩和されたことにより本年は久しぶりの開催となりました。

数年ぶりの開催であることと、元々若手の数の減少が問題視されていたため、今年の開催にあたっては獅子の振り手の減少が懸念されていました。そこで本年は消防団の繋がりや各

常会での会合、回覧での周知で若手の参加の声掛けに注力しました。その結果、新人の獅子の振り手が多いお祭りとなりました。獅子の稽古は約一か月前から始



まります。新人たちは最初振り手の足の動きや重量が 10 キロを超えるともいわれ、且つ不安定な重心をしている獅子頭の扱いに、悪戦苦闘していました。しかし稽古を重ねるに連れそれ

ぞれの改善点を一つ一つ良くしていき、本番にはそれぞれが今できる最高の振りを堂々と披露していました。

里曳きでは個人の邸宅や企業様の店舗前でそれぞれ獅子舞を奉納し、個人の稽古の成果を発揮していました。

本番の神社への奉納は、4 月とは思えないほど気温が上がり、獅子の中の暑さに耐えながらも今できる全力の獅子舞を振っていました。

はじめはできるか不安に思っていた人も多かったと思いますが、連日の稽古でこなし

た練習が実を結び成果につながったと思います。



「きんもくせい」も特別に出

秋には 7 年ぶりの義士踊りが開催されます。こちら

また、当日は移動図書館車

図書館に新しい雑誌が入りました！

図書館では、本はもちろん、雑誌も利用できることをご存じですか？高森町立図書館では、ご寄贈いただいたものを含め、60 タイトル以上の雑誌を所蔵しています。今年度、その中に新たな雑誌が仲間入り！音楽情報誌「ROCK ON JAPAN」、カルチャー誌「Casa BRUTUS」、生活情報誌「ハルメク」の 3 誌がご



TAKAMORI MACHITOSHO

まちのとしょかん

たかもり読書クラブ「ほんとも」イベント
青空ブックマルシェ開催！
5 月 5 日(こどもの日)に「あつたからす」で開催された「Happy Happyness するていばる」にて、青空ブックマルシェを実施しました。

子どもが本に出会うきっかけの一つに、図書館がありま

す。しかし、さまざまな事情で、図書館まで足を運ぶのが難しいご家庭もあるかと思ひます。

ならば、図書館が外に出掛けていく！という思いが、ブックマルシェの始まりです。

図書館の本や情報に触れる接点になるよう、子どもたちの生活エリアに出かけていきます。

最新の情報をお待ちください！